

【行動指標について】

- ・実施計画に掲載している主な行動指標については、調査が未実施なものを除きおおむね上昇で推移した。
- ・乳児健診未受診児（3~5ヶ月）の現認率は、一部の市町村において里帰り出産や入院中等を理由に現認できなかったことにより低下。※現認できていないケースのその後の状況については、現在追跡中。
- ・実施計画最終年度である令和7年度において達成指標を達成するために、引き続き関係機関と連携を図りながら施策を推進していく。

【達成指標について】

- ・「すべての奈良っ子の健やかな成長」においては、iの項目では、全国平均との差が▲1.4%→▲0.4%と縮まり、iiiの項目では、0.1%全国平均を上回った。ivの項目においては、全国平均以上を維持した。一方で、「社会全体での奈良っ子のはぐくみ」では、策定時の値より低下する結果となったが、「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること」については令和5年度より0.13点改善した。
- ・奈良っ子の健やかな成長や、社会全体での奈良っ子のはぐくみの効果は、実質的な成果が上がるまでに時間を要するなど定量的な評価が難しい側面がある。そのため、今回の結果を真摯に受け止め、関連施策のより積極的な推進を図りつつ、今後の指標の動向についても注視していく。

■奈良っ子はぐくみアクションプランに掲載している行動指標と達成指標一覧

達成したい目標	主な行動指標 (目標達成のために取り組む施策の進捗を測る指標)	策定当初値		R5確認時		現況値(最新値)			目標値 (R7年度)	備考
		(a)	時点	実績(b)	時点	実績(c)	時点	差異(c-b)		
すべての奈良っ子の健やかな成長 「学ぶ力」「生きる力」の3つの土台である「自己肯定感・自尊感情」「他者への寛容なこころ」「健やかな身体」がはぐくまれている状態の実現（子どもを権利の主体として捉え、常に子どもの権利が守られているかという視点に立ち、はぐくみを実践）	①「学ぶ力」「生きる力」の3つの土台のはぐくみ 保育所等における奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率を80%にする。	52.3%	R3年度	55.1%	R4年度	67.6%	R5年度	↑ 12.5%	80%	
	「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度」の認証団体数を50にする。	-	-	12団体	R5.12	18団体	R6.12	↑ 6	50団体	令和4年11月制度開始
	「幼児向けアートプログラム」を実践する保育所等を30にする。	-	-	-	-	8施設	-	-	30施設	令和5年度はプログラム作成のため実績値なし
経済的困難等の状況に置かれている子育て家庭が、地域で孤立することなく子どもの「伸びていく力」がはぐくまれている状態の実現	②子どもの「伸びていく力」をはぐくむ親への支援 ひとり親世帯（母子家庭）の保護者の就業率を95%にする。	91.4%	R1年度	-	-	-	-	-	95%	次回調査はR7年
	ひとり親の就業率を高めるため、就業支援バンクの登録者数を400人に増やす。	315人	R2年度	355人	R4年度	367人	R5年度	↑ 12	400人	
達成指標 (「達成したい目標」の達成度を測る指標)						現状				
○全国学力・学習状況調査(小学校児童)の以下の項目において、全国平均以上に高める。										
i 自分にはよいところがある 令和4年度 全国：79.3% 奈良：77.9%						令和6年度 全国:84.1%(+4.8) 奈良:83.7%(+5.8)				
ii 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている 令和4年度 全国：87.2% 奈良：85.4%						令和6年度 調査項目なし				
iii 人が困っているときは、進んで助けている 令和4年度 全国：88.9% 奈良：88.6%						令和6年度 全国:92.7%(+3.8) 奈良:92.8%(+4.2)				
iv 人の役に立つ人間になりたい 令和4年度 全国：95.1% 奈良：95.7%※						令和6年度 全国:95.9%(+0.8) 奈良:96.0%(+0.3)				
※「人の役に立つ人間になりたい」については、全国平均以上を維持										

■ 奈良っ子はぐみアクションプランに掲載している行動指標と達成指標一覧

達成したい目標	主な行動指標 (目標達成のために取り組む施策の進捗を測る指標)	策定当初値		R5確認時		現況値(最新値)			目標値 (R7年度)	備考
		(a)	時点	実績(b)	時点	実績(c)	時点	差異(c-b)		
社会全体での奈良っ子のはぐみ  すべての子育て家庭が幸せな子育てをすることができる社会の実現  ・社会全体で子どもをはぐむ地域社会の実現 ・子育て家庭が抱える様々な悩みや困りごとに対応できるよう、市町村の包括的な相談・支援体制が整備された状態の実現 ・すべての子どもが、家庭での養育が困難な状況に直面しても、家庭と地域の力により、健やかに育まれる社会の実現	①すべての子育て家庭を支える機能の強化									
	市町村子ども家庭総合支援拠点の設置率を100%にする。	92.3%	R4.11	97.4%	R5.3	97.4%	R5.3	→ 0.0%	100%	
	②地域における多様な子どものはぐみ活動の充実									
	小学校区におけるこども食堂設置率を100%にする。	39.7%	R4.7	49.5%	R5.12	54.0%	R6.12	↑ 4.5%	100%	
	③子どもにとって、一番ふさわしい選択ができる養育環境の実現									
	里親登録者数を150組以上とする。	149組	R3年度	175組	R5.12	183組	R6.12	↑ 8	150組以上	奈良市を含む (現況値：37組)
児童虐待や体罰等のない社会の実現	④虐待の未然防止、発生時の早期対応									
	乳児健診未受診児(3～5ヶ月児)の現認率を100%にする。	91.3%	R3年度	97.3%	R4年度	81.6%	R5年度	↓ -15.7%	100%	
	⑤児童虐待予防に対する県民意識の定着									
	オレンジリボンキャンペーンを県内全ての市町村が毎年継続して実施する。	全ての市町村	R3年	全ての市町村	R4年	全ての市町村	R5年	→	全ての市町村が毎年継続して実施	
達成指標 (「達成したい目標」の達成度を測る指標)						現状				
<p>○県民アンケートにおいて、「地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりをおこなっていること」の平均点数3.3点に高める。</p> <p>令和3年度 3.09点</p> <p>○県民アンケートにおいて、「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること」の育児期の県民満足度を3.25点以上とする。</p> <p>令和4年度 3.24点</p>						<p>令和6年度 調査項目なし(令和5年度 3.00点)</p> <p>令和6年度 3.18点(▲0.06点)(令和5年度 3.05点より0.13点改善)</p>				

※( )内の数値は計画策定時の達成指標の値との差異